



宝達山

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子

素敵な子ども達に新しい学びを



校長 金谷 外志弘

今、世界は新型コロナという誰もが経験したことの無い初めてのことに向き合っています。みんなが協力して知恵を出し合っています。

いつもの7月ならばそろそろ夏休みの準備をするところですが、今年は少し様子が違っていています。でも、この出来事は私たちにとって無意味ではありません。必ず意味が

1年生もパソコンを使って授業を

あると思います。社会は、英語学習やICT化の波（オンライン授業等の模索）や情報処理のスピード（日本が開発した富岳というコンピュータ等）に目を向けています。

本校でも、**人として変えてはいけない学びの大切なことは継続しつつも、新しい教育に対応**していきます。

6月梅雨のこの時。とても素敵な光景を児童玄関で見かけました。みなさんにも知っていただきたくて、思わず写真に残しました。子ども達の下足箱に長靴が大きくて入らないのですがご覧の通り、きちんとそろえられておいてあります。当たり前と言えば当たり前ですが、**当たり前のことができる本校の子ども達を自慢**したい思います。



4年生の下足箱

コロナ感染予防と同時に**熱中症対応が必要な季節**となりました。暑さで息苦しさを感ずるときや登下校中に友達との十分な距離を確保できる場合や話さない等可能ならば、**マスク着用の必要はありません。**

学年の教室では、**エアコン**を利用します。



2年生の雨具・下足置き場